



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位



令和6年11月29日（金） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
農村振興課	農村企画係	松原、佐藤	内線 4176 直通 058-272-8460 FAX 058-278-2698

白川町で「半農半Xツアー」を開催します

県では、人口減少や高齢化が顕在化している農村地域において、地域を支える人材を確保するため、「半農半X」の取組みを推進しています。

このたび、岐阜県への移住を検討されている方々が白川町の半農半X実践者を訪問し、半農半Xの生活を体感するバスツアーを下記のとおり開催します。

記

- 1 開催日 令和6年12月7日（土）～8日（日）
- 2 開催場所 加茂郡白川町黒川地域
- 3 参加予定者 農村での暮らしや半農半Xに興味のある方 20名程度
- 4 内 容 白川町黒川地域にて、農村暮らしの体験（収穫、薪割りなど）や半農半X実践者との交流を行うとともに、参加者それぞれが半農半Xの暮らしを考えるワークショップを実施します。

<半農半Xとは>

農業に携わりつつ、別の仕事や好きなことをして、農村社会に関わっていく生活スタイル。就業形態（農業とその他の仕事等）により、移住定住対策のほか、農業の担い手対策、遊休農地対策、空き家対策等、さまざまな課題に関連する取組み。

<ツアーに関係する実践者>

○伊藤和徳氏いとうかずのり・・・愛知県出身。半農半Xのコンセプトに惹かれ、2010年に白川町へ移住。有機農家として暮らしながら里山の魅力と課題を見つけ、里山、人、地域を再生する取組みとして、サウナと新しいお茶事業を始める。

○新井みなみ氏あらい・・・大阪府出身。消費し続ける暮らしに疑問を持ち、田舎での丁寧な暮らしに憧れ、高知県四万十町で有機農家として過ごしたのち、白川町に移住。2022年に「人と地域」「人と仕事」を繋ぐ「白川ワークドット協同組合」を立ち上げる。マルチワーカーとして活躍しながら、現在は自宅前の畑で野菜を自給している。

<ツアー行程（予定）>

○12月7日（土）／1日目

- 10:00 出発 (JR名古屋駅)
- 12:30 白川町に到着後、昼食 (黒川マルケ)
- 13:40 半農半Xワークショップ
- 15:00 農村暮らし体験（収穫、薪割りなど）
- 17:30 夕食作り (晴耕雨読とみだ)
- 18:30 夕食交流会

○12月8日（日）／2日目

- 8:30 堆肥づくり見学 (五段農園)
- 10:00 サウナ体験 (里山サウナ)
- 12:00 昼食 (黒川マルケ)
- 13:00 振り返りワークショップ
- 14:30 白川町出発
- 17:30 解散 (JR名古屋駅)

<位置図>

○白川町黒川地域

